

## 献呈のことば

山本純一教授は、1985年3月31日をもって甲南大学教授を定年退職された。

山本教授は、1960年春、甲南大学経営学部の開設とともに教授として着任され、その後、25年の永きにわたって研究・教育・管理活動に従事された。山本教授は科学的管理の研究から出発され、インダストリアル・エンジニアリングの研究、経営管理システムの研究へとテーマを前進・拡大された。その成果は、多くの著書・論文として世に問われている。その結果、いわゆるアメリカ経営学の分野における山本教授の令名は夙に高く、万人の知るところとなって久しい。山本教授は、以上のような研究を踏まえて、経営管理論、生産管理論、経営学総論、経営システム論などの講義を担当され、教育活動に大きく寄与された。数多くの優秀な門下生を育成されたことは、いうまでもない。また、山本教授は、甲南大学資料室長、就職指導部長、学長補佐の要職を歴任され、大学の管理・運営にも大きく寄与された。このたび、ご退職に際し、甲南大学名誉教授の称号が授与されたことは、けだし当然である。われわれも、ささやかながらここに退職記念論集を編み、永きにわたるご活躍とご指導・ご鞭撻に感謝の微意を表明させていただく次第である。

なお、山本教授は、現在、九州産業大学教授として、研究・教育活動を継続しておられる。新天地における一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

1985年8月22日

甲南大学経営学会会長 岡田昌也